令和８年（2026 年）11 月 20 日

保護者の皆様

札幌市立羊丘中学校
校長　　髙橋　正幸

令和８年度　全国学力・学習調査の結果について

向寒の候、保護者の皆様におかれましては、ますますの御清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただきまして誠に有り難うございます。

さて、３年生を対象に「全国学力・学習状況調査」を実施しました。生徒個人の調査結果につきましては、３年生の本人及び保護者の皆様へ個人票を返却しておりますが、今年度の本校調査結果をまとめましたのでお知らせいたします。

調査について

１　目的

・全国学力・学習状況調査は、以下を目的として、文部科学省が教育委員会と協力し実施したものです。
⑴ 全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
⑵ 学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
⑶ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２　内容

・教科調査（国語、数学、英語）

・質問調査（生活習慣や学習環境等）

３　本校調査結果について

・全国平均正答率と本校の正答率を比較し、
⑴ 上回っている（+3.1%以上）、
⑵ ほぼ同程度であるがやや上回っている（0～3.0%）、
⑶ ほぼ同程度であるがやや下回っている（－3.0%～0）、
⑷ 下回っている（－3.1%以下）
と示しています。

・英語はＩＲＴスコア（基準値 500）に基づきます。

・質問調査では、全国平均と比較して本校生徒の特徴となる顕著なものを示しています。

・文部科学省、北海道教育委員会、札幌市教育委員会としての調査結果につきましては、それぞれのホームページで閲覧できます。

・この資料は、本校 HP からも閲覧できます。
URL：https://www16.sapporo-c.ed.jp/hitsujigaoka-j

・この件のお問い合わせは、羊丘中学校教頭まで御連絡ください。
Tel：(011)851-9352

【中学校国語】

	本校の概要	課題	改善の方向
中学校 国語	【領域】 □「話すこと・聞くこと」の平均正答率 ・全国平均を上回っている。	●互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること。	○議題に対して自分なりに考えをもち、グループで話し合って結論を出す活動を行う。
	□「書くこと」の平均正答率 ・全国平均を上回っている。	●表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、良い点や完全点を見出すこと。	○記述の問題で正答率が下がり、未回答も増える傾向があるので、テーマに沿って短い文を書き、推敲する活動を充実させる。
	□「読むこと」の平均正答率 ・全国平均を上回っている。	●文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基にとらえること。	○長め（500～1000 字程度）の文章を要約し、短い文にまとめる活動を行う。
	□「言葉の特徴や使い方に関する事項」の平均正答率 ・全国平均を上回っている。	●単語の分類について理解すること。	○文法や表現技法など１・２年生で学習した内容を復習する時間を取り、定着の度合いを確かめる。

【中学校数学】

	本校の概要	課題	改善の方向
中学校　数学	【領域】 □「数と式」の平均正答率 ・全国平均を上回っている。 □「関数」の平均正答率 ・全国平均を上回っている。 □「図形」の平均正答率 ・全国平均を上回っている。 □「データの活用」の平均正答率 ・全国平均を上回っている。	●具体的な場面において、正の数と負の数を用いて変化や状況を表すことができるかどうかをみる。 ●反比例の関係を表す表の特徴を捉えて、ｘの値に対応するｙの値を求めることができるかどうかをみる。 ●数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。 ●起こり得る場合を樹形図や二次元の表を利用するなどして整理し、確率を求めることができるかどうかをみる。 ●箱ひげ図と四分位数の対応について理解しているかどうかをみる。	○具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりする数学的活動を確実に行う。 ○関数関係や比例、反比例、変数の意味を確実に理解させ、表、式、グラフにおいて、それらの変化や対応の特徴を見いだす数学的活動を取り入れる。 ○事象の中には関数として捉えられるものがあることに気づかせ、問題解決の過程を振り返って評価・改善する活動を取り入れる。 ○場合の数を基にして得られる確率を様々な方法で求め、その過程を振り返って評価・改善する活動を取り入れる。 ○四分位範囲や箱ひげ図が、中央値をもとに構成されていることを理解する活動を大切にする。

【中学校英語】

中学校　英語

課題	改善の方向
【読むこと】 ●物語を読み、登場人物の気持ちの変化などを読み取ること。 【書くこと】 ●社会的な話題に関する内容（インターネットの利用など）を読み、要点をとらえ、自分の考えとその理由を書くこと。 ●日常的な話題（学校で普段行うことなど）について、事実や自分の気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くこと。 【話すこと】 ●日常的な会話のやりとり（電話で遊ぶ約束をするなど）の中で、相手に提案したり、依頼すること。 ●日常的な話題（季節）や社会的な話題（学校生活）に関して、自分の考えや気持ちを話すこと。 【聞くこと】 ●日常的な話題に関する内容（飲食店での注文など）を聞き、概要をとらえること。 ●発表やプレゼンテーション（職業体験、住みやすい街づくりなど）を聞き、概要をとらえたり、話者の伝えたい内容を理解すること。	【読むこと】 ○複数の情報を含むまとまりのある内容を読み、目的や場面・状況に応じて必要な情報を読み取ったり、自分に必要な情報を判断して読み取ったりする学習活動の充実 【書くこと】 ○説明文等のまとまりのある文章を読み、筆者の主張を捉えた上で、その内容に関する賛否や自分の意見、その理由や根拠の関係を明確にしながら内容を整理して書く学習活動の充実 【話すこと】 ○「日常的な会話の中で、相手の反応に応じながら提案を適切に行う学習活動の充実 ○「季節などの日常的な話題や学校生活等の社会的な話題に対し、理由や具体例を添えて自分の考えや気持ちを論理的に話す学習活動の充実 ○「自分ならどうするか」をその場で感情や考えを込めて発話する即興スピーキング活動の充実 【聞くこと】 ○一語一語にとらわれず、時間の経過や展開を示す語句に着目し、話全体の流れや要旨を捉える学習活動の充実

質問調査結果

１　概要と課題

⑴　肯定的な回答が多いもの

・あなたは自分がＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を使って情報を処理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか。

・１、２年生の時に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

・１、２年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習に取り組んでいますか。

⑵　課題と考えられるもの（肯定的な回答が少ないもの）

・自分には、よいところがあると思いますか。

・人が困っているときは、進んで助けていますか。

・あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか。

・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。

２　今後の方向性

・課題解決学習に向けて積極的に取り組んでいる様子が見られます。総合的な学習の時間のみならず、各教科で学習展開を工夫し、自分の考えや意見をわかりやすく伝える学習を更に進めていきます。

・「自分が大切にされている」「自分が必要である」が実感できる活動を行っていきます。総合的な学習の時間や各教科では、課題解決のために協働的な活動を行います。また、授業だけではなく学校の教育活動全体でそのような活動を設定し、教育相談や日常でのコミュニケーションで意識できる機会を増やしたいと考えます。

・本校では、札幌市の教育推進計画を踏まえ、生徒一人一人が実感できるように、校内研修や教育相談活動を継続して更に充実した教育活動となるよう努めていきます。今後も引き続き、御理解・御協力をお願いいたします。